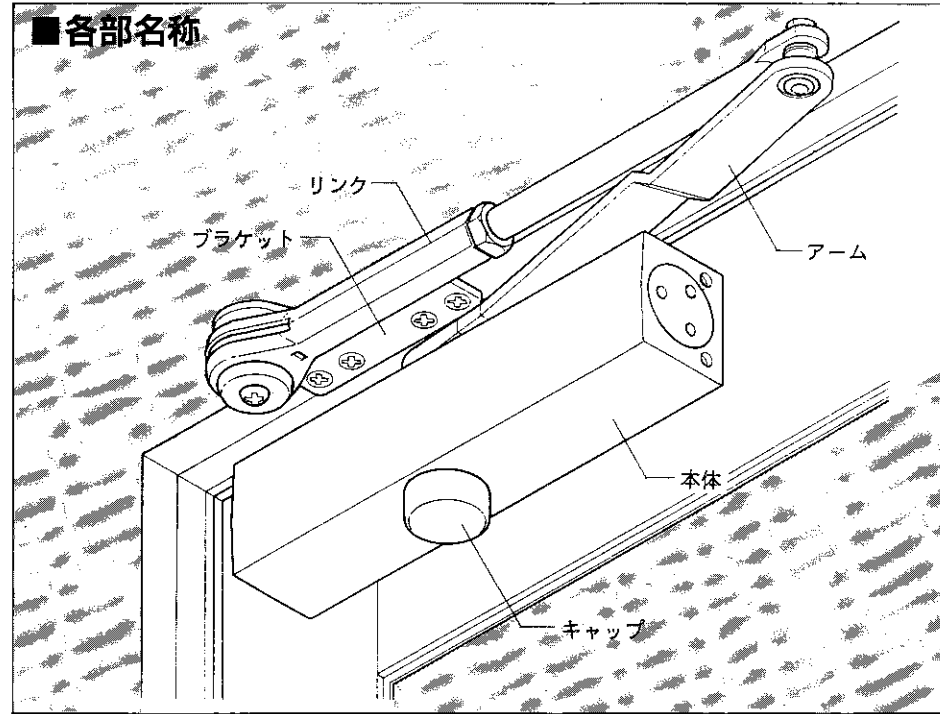


■お願い…

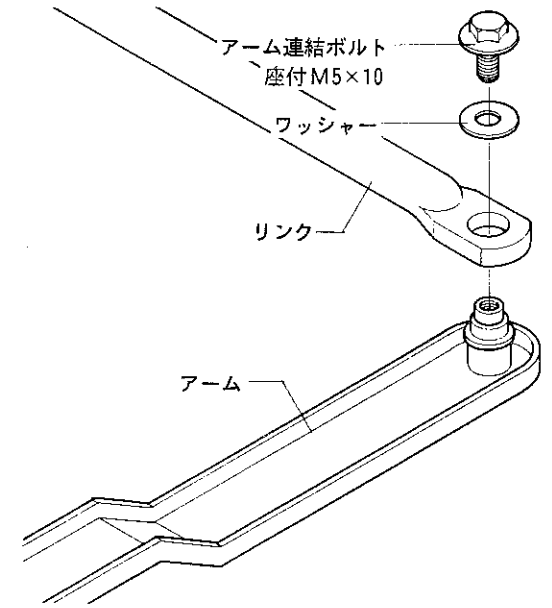
- このドアクローザは、室内側に取付けます。
- このドアクローザは、左右勝手兼用です。説明は外観右つり元用で示してあります。左つり元の場合も、同じ要領で取付けてください。

■各部名称



■アームとリンクの分離

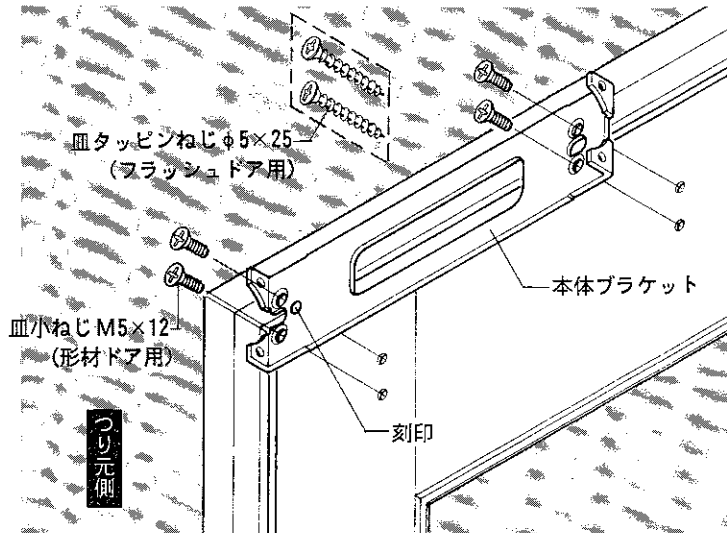
- 取り付ける前にアームとリンクを分離してください。
- ※アーム連結ボルト及びワッシャーは、アームに仮止めしておいてください。取付け手順図で連結する時に使います。



■取付け順序

① 本体ブラケットの取付け

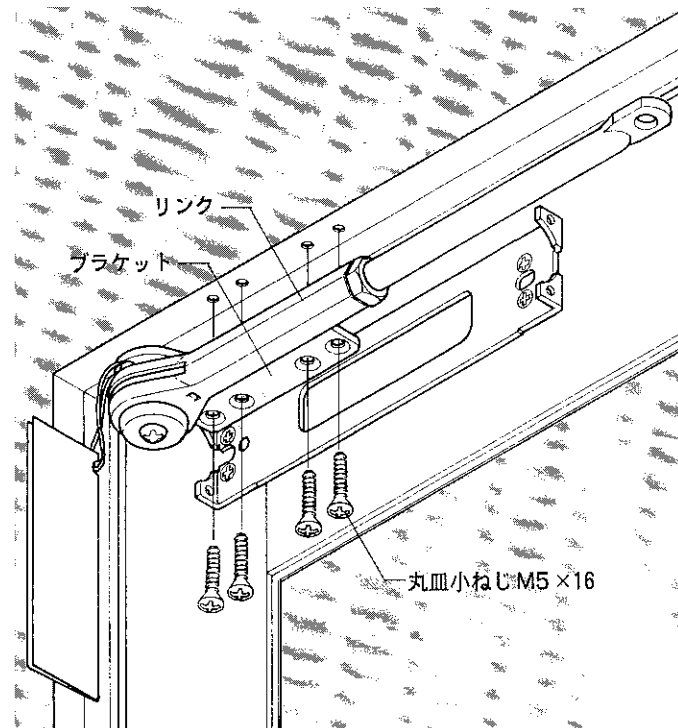
- ① 本体ブラケットをドア本体に取り付けます。その際、本体ブラケットの刻印(○印)をつり元側にして取付けてください。



※取付けねじは、ドア本体の種類によって使い分けます。

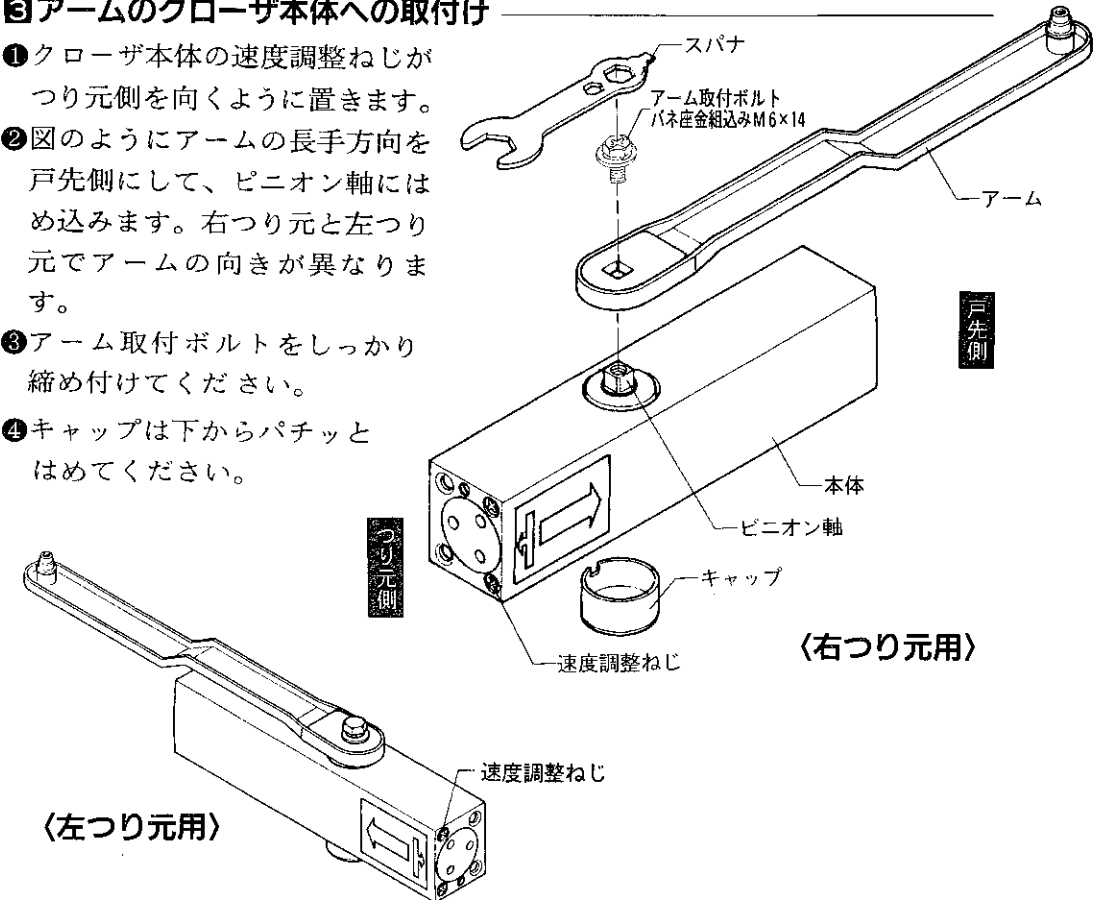
② ブラケットの取付け


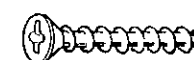
- ① ブラケットを上枠または、無目に取り付けます。



③ アームのクローザ本体への取付け

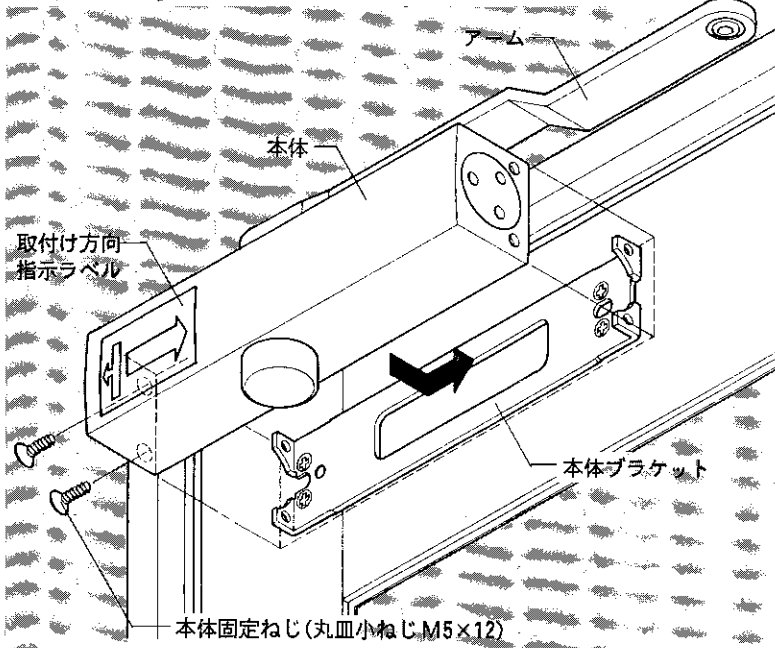
- ① クローザ本体の速度調整ねじがつり元側を向くように置きます。
- ② 図のようにアームの長手方向を戸先側にして、ピニオン軸にはめ込みます。右つり元と左つり元でアームの向きが異なります。
- ③ アーム取付ボルトをしっかりと締め付けてください。
- ④ キャップは下からパチッとはめてください。



ドアの種類	形材ドア	フラッシュドア
ねじの種類		
	皿小ねじ M5×12	皿タッピンねじ φ5×25

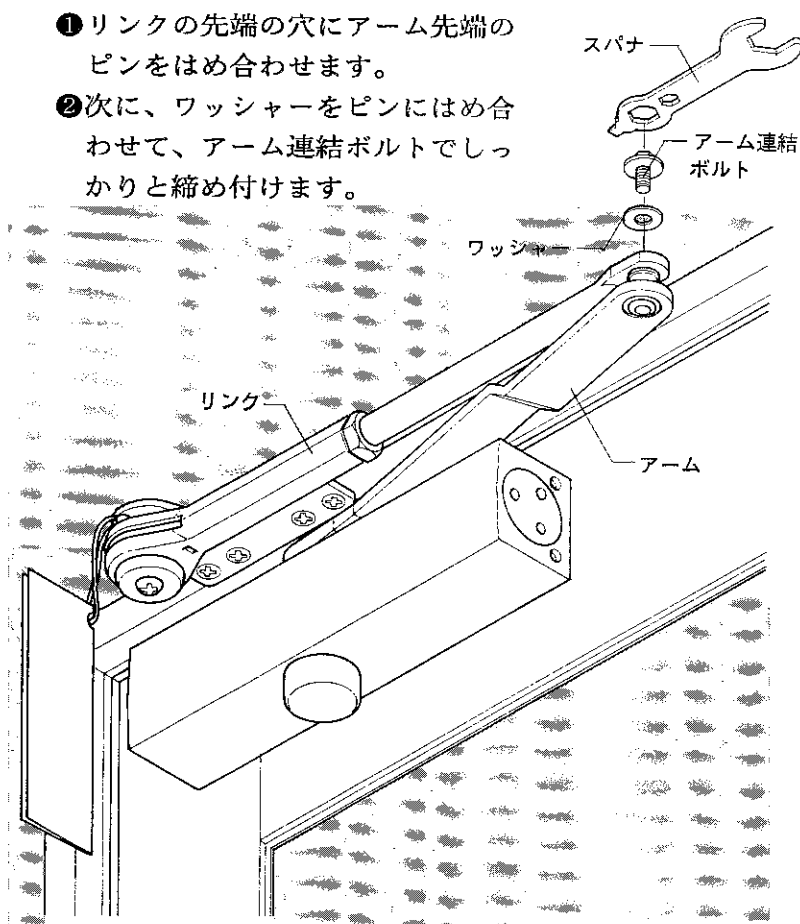
クローザ本体の取り付け

- クローザ本体の速度調整ねじをつり元側に向けます。
- クローザ本体を図のようにスライドさせて本体ブラケットにはめ合わせます。
- 次に、扉を開けて、速度調整ねじ側から本体固定ねじで固定します。
- 本体の取付けが終わったら、方向指示ラベルをはがしてください。



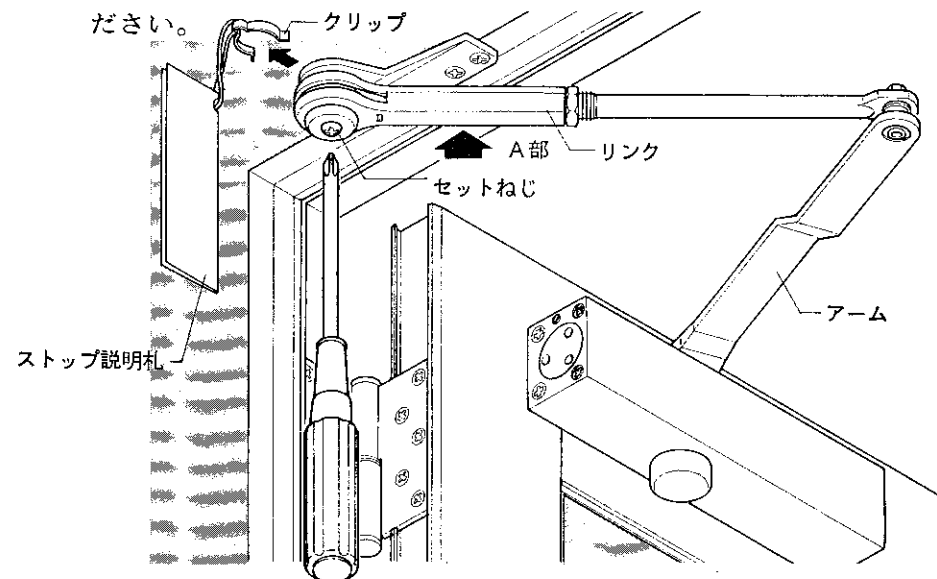
アームの連結

- リンクの先端の穴にアーム先端のピンをはめ合わせます。
- 次に、ワッシャーをピンにはめ合わせて、アーム連結ボルトでしっかりと締め付けます。



ストップ角度の決め方

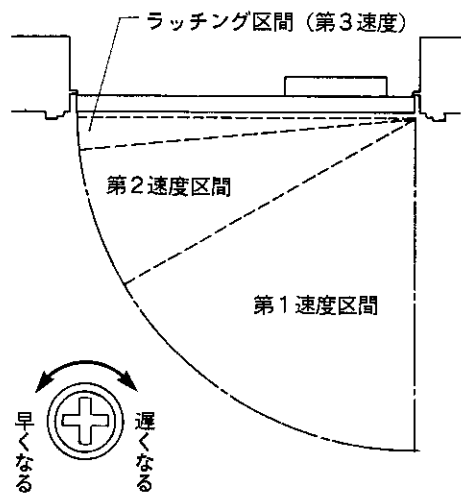
- クリップを引き抜いてから、扉をストップさせたい角度まで開きます。
- 扉を開いた位置でリンクのA部分を押し上げてください。セットされるとカチッという音がします。
※リンクの押し上げしろはクリップの厚み分約4mmです。扉をその位置で開閉方向に振りながら押し上げると楽にセットできます。
- セットねじをしっかりと締め付けて完了です。
※ストップなしにする場合は、ストップ説明札の説明に従って取り付けてください。セットねじをゆるめたまま使用しないでください。



ドア(扉)閉し速度の調整

閉じ速度の調整

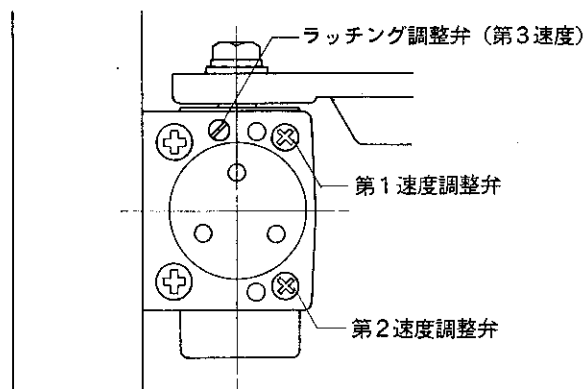
閉じ速度は、第1速度区間及び、第2速度区間及び、ラッチング区間を別々のねじで調整します。



ラッチングアクション(第3速度)の調整

ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置手前(約3°)まで来た時点で、ドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用してください。通常調整は、不用のためラッチング調整弁はマイナスネジ頭にしてあります。

- 調整ねじを(1~2回転)左に回すと、素早くドアが閉まります。
※調整ねじは左へ4回転以上回さないでください。回し過ぎると調整弁が外れることがあります。



ストップ強さの調整

●あらかじめストップの強さは、調整済みです。取り付け後、調整が必要になった場合は、次の要領で行なってください。

- ロックナットを付属のスパナでゆるめます。
- アーム連結ボルトを外し、アジャストリンクを左に回して抜き取ります。
- リンクの穴にマイナスドライバーを入れて、(1/2~1回転)回します。
- 取り付ける時は、リンクが扉と平行になるようにします。
- ロックナットは付属のスパナで、しっかりと締め付けてください。

